

Daily Report (号外)

～1月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が2月5日に発表した1月の雇用統計は、市場予想を下回る結果となりました。非農業部門雇用者数は前月比+4.9万人と市場予想(+10.5万人)を大幅に下回りました。前月分は、-22.7万人(速報値-14.0万人)に下方修正されました。

1月は8か月振りにマイナスとなった12月から改善したものの、新型コロナウイルス感染再拡大による経済活動の再制限の影響で雇用回復が遅れている状況が鮮明となりました。

業種別では小売業が前月比-3.8万人(前月+13.5万人)と減少したほか、輸送・倉庫業や娯楽・接客業で減少しました。また、他業種も小幅な伸びに留まりました。

一方、人材派遣業は同+8.1万人(同+6.4万人)と大幅に増加しました。

失業率は6.3%(前月6.7%)と市場予想(6.7%)を上回る改善となりましたが、平均時給は前月比+0.2%(前月+1.0%)と市場予想(+0.3%)を下回りました。

市場の反応

5日の米国株式市場は続伸しました。

米国株式市場は、1月の米雇用統計が市場予想を下回る結果となったものの、追加経済対策の実現への期待感からNYダウは前日比+0.30%、S&P500は同+0.39%、ナスダック総合指数は同+0.57%となり、主要3指数は揃って上昇しました。

米国債券市場は、追加経済対策が実施されれば景気回復や国債増発につながるとの見方から、10年国債利回りは前日比+0.02%の1.16%程度で引けました。

米ドル/円は、追加経済対策に対する期待を受けた株高につれて一時円安・ドル高が優勢となったものの、米雇用統計が市場予想を下回ったことからドル売りが優勢となり、前日比+15銭程度の円高・ドル安で取引を終えました。

原油先物市場は、主要産油国の協調減産によって需給改善が進むとの見方や追加経済対策の期待を受けた株高につれて、WTI先物3月限は前日比+1.10%の1バレル56.85ドルと上昇しました。



(期間)2019/12/31～2021/2/5 (出所)Bloomberg



評価・今後の見通し

雇用情勢は前月からは改善したものの、依然停滞した結果となりました。

足元、米国では新型コロナウイルス新規感染者数は減少傾向にあるものの、新規感染者数自体は未だ高い水準にあり、飲食店では営業制限などが続いている地域もあることから、雇用回復には時間がかかると見られています。

ただし、バイデン政権は政権発足100日でワクチン1億回接種を目標に掲げており、米国内でもワクチン接種が進んでいます。

また、バイデン大統領は1月中旬に発表した1.9兆ドル規模の追加経済対策の速やかな法案可決を目指していることから、市場では追加経済対策の成立期待が高まっています。

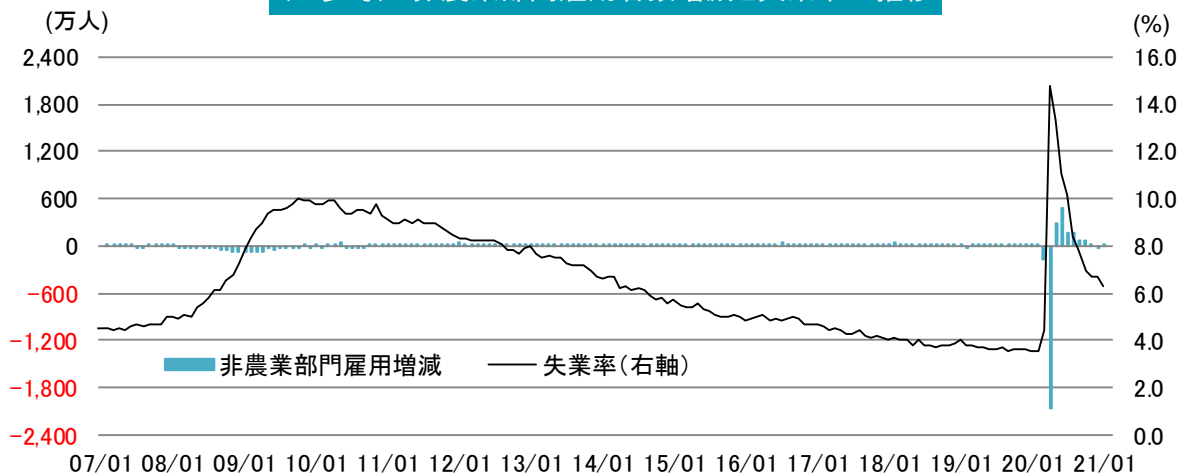
このため、株式市場は調整を交えながらも底堅い展開が続くと見えています。

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所: 米国労働省

	20/8	20/9	20/10	20/11	20/12	21/1
非農業部門	158.3	71.6	68.0	26.4	-22.7	4.9
鉱工業部門	5.3	9.1	10.7	6.8	7.6	-0.4
建設業	2.6	3.3	7.3	2.4	4.2	-0.3
製造業	3.1	5.5	3.2	4.1	3.1	-1.0
資源・鉱業	-0.4	0.3	0.2	0.3	0.3	0.9
サービス部門	101.3	84.1	84.7	29.1	-28.0	1.0
卸売業	0.7	3.4	0.9	1.5	1.6	1.4
小売業	25.3	3.0	10.7	-0.2	13.5	-3.8
輸送・倉庫業	8.7	4.4	7.1	12.4	-2.4	-2.8
情報	2.5	4.2	-0.9	0.0	0.6	1.6
金融	2.8	3.8	3.4	1.0	1.8	0.8
専門・ビジネスサービス業	20.0	14.0	24.1	9.5	15.6	9.7
人材派遣業	9.9	1.8	12.1	3.9	6.4	8.1
教育・保険業	19.9	6.8	8.3	4.3	-3.1	-0.7
娯楽・接客業	13.9	39.4	26.5	1.0	-53.6	-6.1
その他	-2.5	3.3	-7.5	-4.2	-8.4	-7.3
政府部門	51.7	-21.6	-27.4	-9.5	-2.3	4.3
失業率(%)	8.4	7.8	6.9	6.7	6.7	6.3
平均時給(前年比、%)	4.7	4.8	4.5	4.5	5.4	5.4

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2007年1月~2021年1月 (出所)Bloomberg